



よう太のワーク 「あかつき」

ことばナビ あかつき ————— 今年12月、金星探査に再挑戦



2010年5月に打ち上げられた日本の金星探査機。同年12月、金星を回る軌道に乗せる予定でしたが、エンジントラブルで失敗しました。今は太陽の周りを回っており、今年12月に再び金星に近づかため、再挑戦します。

金星は、大きさや太陽からの距離が地球に近く、太陽系ができたころは地球と似ていたと考えられています。しかし、今は高温の二酸化炭素に包まれ、上空は暴風が吹いています。金星の大気を観測することによって、なぜ地球と異なる姿になってしまったのかが分かれば、地球環境を理解する上でも役立つと期待されています。

14年12月には、「太陽風」と呼ばれる太陽から吹き出す電気を帯びた薄いガスの流れが、太陽から350万キロ離れたあたりで急激にスピードを増すことなど、あかつきを利用した最新の研究成果も発表されました。

打ち上げ前に公開された金星探査機「あかつき」は2009年11月、相模原市の宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部

／掲載日：2015年1月25日／紙面：山陽新聞朝刊／掲載：104ページ

●記事からさがそう。

①「あかつき」とは？

(_____)

②金星を回る軌道に乗せるのに失敗したのはいつ？ (_____)

③失敗した理由は？ (_____)

④再挑戦はいつ？ (_____)

⑤金星は地球と大きさや距離が近いことから、どのように考えられているの？

(_____)

⑥今の金星はどんなようす？

(_____)

⑦金星の大気を観測することで何が分かるかもしれないの？

(_____)

⑧それが分かれば何に役立つと考えられているの？

(_____)

・ _____月 _____日 _____年 _____組 _____番 名前 _____

解答例

①「あかつき」とは？

(2010年5月に打ち上げられた日本の金星探査機)

②金星を回る軌道に乗せるのに失敗したのはいつ？ (2010年12月)

③失敗した理由は？ (エンジントラブル)

④再挑戦はいつ？ (2015年12月)

⑤金星は地球と大きさや距離が近いことから、どのように考えられているの？

(太陽系ができたころは地球と似ていた)

⑥今の金星はどんなようす？

(高温の二酸化炭素に包まれ、上空は暴風が吹いている)

⑦金星の大気を観測することで何が分かるかもしれないの？

(なぜ地球と異なる姿になってしまったのか)

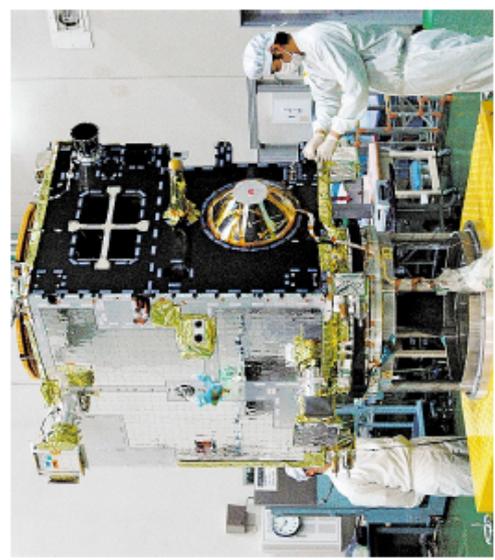
⑧それが分かれば何に役立つと考えられているの？

(地球環境を理解する上でも役立つ)

ことばナビ

あかつき

今年12月、金星探査に再挑戦



2010年5月に打ち上げられた日本の金星探査機。同年12月、金星を回る軌道に乗せる予定でしたが、エンジントラブルで失敗しました。今は太陽の周りを回っており、今年12月に再び金星に近づくため、再挑戦します。

金星は、大きさや太陽からの距離が地球に近く、太陽系ができたころは地球と似ていたと考えられています。しかし、今は高温の二酸化炭素に包まれ、上空は暴風が吹いています。金星の大気を観測することによって、なぜ地球と異なる姿になってしまったのかが分かれば、地球環境を理解する上でも役立つと期待されています。

14年12月には、「太陽風」と呼ばれる太陽から吹き出す電気を帯びた薄いガスの流れが、太陽から350万km離れたあたりで急激にスピードを増すことなど、あかつきを利用した最新の研究成果も発表されました。

打ち上げ前に公開された金星探査機「あかつき」は2009年11月、相模原市の宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所本部